

日本計画行政学会第20回計画賞「最優秀賞」

受賞の言葉

このたびは、栄誉ある日本計画行政学会第20回計画賞「最優秀賞」の受賞を賜りましたこと至極光栄に存じます。

我々が策定した『桜川市田園都市づくりマスタープラン』は、我が市における都市政策体系及び土地利用計画体系の最上位計画でありながら市民及び市議会から従来型都市計画への強い反発に端を発し、数多くの識者と行政機関実務者とは紡いだ10年にわたる議論の集大成として編纂された異色の行政計画です。その成り立ちから、桜川市田園都市づくりマスタープランは、市民及び市議会だけでなく、識者と行政機関実務者の鑑賞にも耐え得ることが求められました。課せられたテーマは、市民と行政とのビジョンの共有を図るべく、人口減少・逆都市化時代における都市の生存戦略として“集約と連携”〈コンパクト・プラス・ネットワーク〉の基本方向を示しつつ、市民の視点に寄り添ったきめ細かな都市計画を実現するための道筋を付けることです。

マスタープランに掲げるビジョンが一つの絵画であるとするならば、マスタープランはそれを効果的に見せるための舞台装置であると云えます。《観客》にとって如何に面白く、かつ、見応えのある仕掛けを施してゆくか。視覚的・直観的な理解を促すための演出に腐心しました。構成要素となるテキストは全て職員が執筆し、写真・図表類もほぼ全て職員が撮影・作成しました。そうやって一つひとつ《部品》をつくり、磨き、趣向を凝らしながら組み上げてゆく作業は、難解でありつつも、とても楽しく、充実感に満ちたものであったことを憶えています。試行錯誤の繰り返しのなかで不安に駆られることもありましたが、結果としてこのような最高の評価を賜り、あの苦悩と高揚の日々が認められ、報われた思いでいっぱいです。このたびの受賞を誇りに、これからも我が国における計画行政の末席にて力を尽くしてまいります。

末筆となりましたが、この場を借りて桜川市田園都市づくりマスタープランの策定に関しご支援・ご協力を賜った全ての方々に改めて感謝を申し上げますとともに、貴学会の益々のご発展をお祈り申し上げます、「受賞の言葉」とさせていただきます。誠にありがとうございました。

令和6年2月22日

茨城県 桜川市役所
都市政策担当 一同

